

木材、竹材を起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種（小）	事故の型	労働者規模
2017	1	17～18	戸建て住宅にて部材の差し上げ作業中に、元々背後に立てかけてあった部材が何かのはずみで倒れてきてぶつかり、転倒した。	38	30202	5	—
2017	1	22～23	当社工場内において、原木皮剥ぎ機での作業中、ステップ部で丸太が落下しそうになるトラブルが発生したため、手で丸太を直そうとしたところ、丸太とライン上にあるガイドに右手小指を挟み負傷した。	30	10401	7	100～299
2017	1	11～12	長さ4mぐらいの木材を、2人で持った時に、片方の者が指を滑らせて木材を放してしまい、運悪く下に鉄のローラーがあり、指がローラーと木材に挟まれて怪我をしてしまった。	41	10409	7	1～9
2017	1	8～9	トラックに積み込んでいた廃棄物を降ろす為に、後ろの荷台を開けたら木枠（1mぐらいの四角）が落ちてきて鎖骨辺りにぶつかった。	50	150102	4	10～29
2017	1	13～14	改築工事において、2階屋根の瓦の葺き替え作業中、2段目の足場を上がった時に、瓦のリフトに積んであったコンパネ（1800mm×900mm、約3kg）が落下し、足場を歩いていた被災者に当たり、コンパネと共に約1.8mの高さより地面に落ち、腰と頭部を打ち受傷した。	26	30202	1	—
2017	1	10～11	平な場所（山林内）にて、伐採作業中、胸高末口20cm程度の広葉樹（クヌギ）伐倒時、重機にて補助をしていたが、木が倒れた時の末口が伐倒作業者に当たった。	71	60201	6	1～9

2017	1	10～ 11	コース管理のため倒れた状態の枯松を切断作業中、丸太（直径50cm、長さ5m）を切るために足で押さえたところ、傾斜地（10～13度）で丸太が曲がっていたこともあり、丸太が動き慌てて跨いで止めに行ったが止まらず、両手で抱えた際に丸太ごと転がり、先に飛ばされる形になり、後から転がってきた丸太に顔面（ヘルメット着用）が激突し負傷した。	59	140301	6	1～9
2017	1	14～ 15	伐採事業現場で集伐中、ワイヤーで丸太を移動する時、丸太と丸太の間に手を挟み、右人差し指付根辺りを負傷した。	32	60201	7	—
2017	1	14～ 15	新築住宅工事現場で余剰となった建築資材の回収作業中、耐力壁（t9mm、900×4,000、約20kg）を平置き状態から立掛状態にし、搬出方向に方向転換したところ、板厚を持った手袋が滑り、左足指先に落下し負傷した。	64	30202	4	1～9
2017	1	9～ 10	高さ300mmの台車に乗った木質パネルを、2名でパネル上部と下部をそれぞれ持ち、同じ高さの台車に乗せ替え作業を行っていた時に、片方を持っていた作業者の腰に痛みが発生して動けなくなり、救急搬送された。	37	10401	19	10～ 29
2017	1	17～ 18	倉庫にて商品の整理をしていた際、120cm四方位・厚さ10cm位の板が右足の甲に倒れてきた。	22	80203	4	10～ 29
2017	1	9～ 10	被災者は、修繕工事による現場付近歩行者誘導業務中、現場作業員が足場を移動していたため、持ち場を離れて移動先の通路（階段5～6段）に歩行者がいるかどうかの確認を行った。歩行者がいないことを確認して持ち場に戻ろうとして振り返った際、強風に煽られた木製のコンパネ（縦約1m、横約2m）が飛んできたため、咄嗟に右手を出して防ごうとしたところコンパネのふちで右手親指を切り負傷した。	45	170201	4	100 ～ 299
2017	1	18～ 19	工作中作業場で材料の片付けをしている時に、板で右手人差し指を挟んでしまった。	17	11209	7	1～9
			展示会の撤去作業時、ブース内で梱包作業をしていたところ、頭				

2017	1	16～ 17	上で大工2名が木工ボーダー（柱）の取り外しを行っていた。その際、ボーダー（全長約9m）の中心部分の連結がはずれ、一方が振り子状に落下し、後頭部に直撃した。	22	170209	4	—
2017	1	11～ 12	梱包作業中に、左肘をねじるような感じで痛めた。	52	10409	19	10～ 29
2017	1	19～ 20	営業所内でトラックの荷台片付け中に、リン木で足を踏み外し、左足首を捻った。	48	40301	19	10～ 29
2017	1	9～ 10	仕組（梱包用の木枠）を作成するための角材（145mm×145mm×6000mm/1本あたり94.6kg）を運ぶため素手で持ち上げた際、5段積みの角材の山が崩れ、手前の3段積みの角材の山の上で支えようと左手を差し出したところ、その上に角材が落ち、左手が挟まった。慌てて力いっぱい左手を引き抜いたところ、裂傷を負った。	23	170209	7	10～ 29
2017	1	11～ 12	走行中に荷台の角材が荷崩れを起こしそうになっているのに気づき、広い場所に停車して直す作業をしている際、締機を材木に回し振り返り、左足を軸に左回りに右足を前に踏み出したところに角材があり、足が滑り急に前後に開脚して、右足太腿の血管を痛めた。	64	40301	19	30～ 49
2017	1	16～ 17	倉庫新築工事現場において、倉庫の建前作業中、足場の上でケタの所に木材（ヒノキ角材90cm×長さ400cm）を持ち上げたところ、手が滑って木材が落ちそうになったため慌てて木材を取ろうとした時に、木材が強く胸に当たり、胸骨を骨折した。	68	30202	6	—
2017	1	12～ 13	竹林より竹を出している時に竹の切株を見落とし、竹と竹の切株で指をはさんだ。	23	60209	7	—
2017	1	14～ 15	製材所へ運搬する丸太の積み込みを終えた運転手が、本数を検知していたとき、フォークリフトを使用して椚積作業中の技能班員が長さ4m・径約26cmの丸太を積載して走行中、すでに椚積されて	42	60209	4	1～9

			いた高さ4mの椋山の最上部に誤って衝突し、運転手の首後部にものが落ちてきて負傷した。				
2017	2	10~11	軽便送材車で、杉丸太3m32cmを製材中、丸挽にして小割までを作業していて最後の1枚を裏返した時、ヘッドブロックの台座の角と木材に親指第一関節から先を挟まれた。	69	10401	7	—
2017	2	6~7	店の玄関口で店先の看板の位置を直している時、約2.5cmの段差上段に左足小指側だけ乗せてしまい、体重を左足小指一点にかけてしまった結果、骨折した。	48	40301	5	10~ 29
2017	2	7~8	夕刊配達中に、バイクで交差点で右折待ち停車中、相手方の軽自動車を追突してきた。その衝撃で転倒し受傷した。	54	10402	14	100 ~ 299
2017	2	11~12	店内木材加工室においてスライドソーを使って木材をカットしていたところ、スライドソーに立てかけてあったフロー材に手が触れてしまい、それが落下した。その際、左足指に当たり怪我をした。	33	80209	4	50~ 99
2017	2	17~18	2階専有部で置床の材料（1枚1.8m×0.6m厚さ20mm、約10kg）を各専有部に平踏みに間配りをしていた時に、先に平積みしていた材料と荷運びしていた材料（3枚約30kg）を重ねるため下ろした時に、左中指の指先1cm程を挟んでしまい指先が裂けて出血した。	24	30201	7	1~9
2017	2	17~18	自社、作業場にて材料（木材）（120×120×3000）を横積み中、5段目（高さ約1.5m）から、材料が崩れ落ちてきて、右足を負傷した。	60	30202	5	1~9
2017	2	14~15	裁断の為、原板の内何枚か奥に挟まっている板を抜き出そうとして、手前側の板が倒れかかり、板の重みでコンクリートの地面に転倒し、頭部と左踵を被災した。	53	10501	5	30~ 49
2017	2	9~10	住宅建築現場にて、1階天井の下地作成中、脚立から下りようとして、床にあった6cm×6cm×30cmの木材の上に右足がのり、足首を	66	30209	2	—

			ひねり、骨折したものである。				
2017	2	13~14	個人宅外構工事において、型枠（重量約25kg）を1人で無理に持ち上げた際、左肩に激痛がはした。	70	30202	19	1~9
2017	2	10~11	資材置場にて2tダンプに積んであった廃材の荷締めをやり直すため、荷台の上に乗ってロープを締めるために廃材の上を歩いている時に右足を滑らせてしまい、廃材に足が当たり、ふくらはぎの内側を約20針縫う切傷を負った。	28	30209	3	1~9
2017	2	14~15	中間処理工場内で仕分作業中、木くずを投げて仕分けしており、ヘルメットもかぶらず周囲も確認せず木くずをなげ、被災者の顔に当たり怪我をした。	22	150102	4	1~9
2017	2	8~9	芯材組立工程の木芯材投入口で、芯材を入替作業時、通常フォークリフトが待機してから芯材を動かすが、フォークリフトが待機場所に入る前に芯材を動かし、投入台から落ちそうになった為、手で押さえようとしたところ、芯材が崩れそうになり、体を避けたが、逃げ切れず、右足の上に芯材が崩れ骨折してしまった。	38	10409	5	50~99
2017	2	19~20	木材市場の土場にてトラック荷台より丸太4本をグラップルにて降ろしてもらい丸太を整えるためトラックの上に上がって丸太にトビを打って引っ張ったところ丸太にトビが深く刺さっておらず外れ後ろに足から落下したと思われる。	38	40301	1	1~9
2017	2	9~10	土台代引を車の横に置いて、その横を通っていた時、左足が金具に引っかかり転倒し、左足の膝下辺り、5cm程深く切り、縫った。	49	40301	2	30~49
2017	2	10~11	材料のパーティクルボード（約15kg）を台車に移し替えを行っていた。両手で材料の間に手を離し忘れ材料の間に手を挟んだ。右手中指の先端を骨折した。	54	10409	7	50~99
2017	2	9~10	倉庫内でリン木を片付けていたところリン木に躓いて、背中から転んだ。その時背中を打って肋骨1本を骨折した。	63	40301	2	30~49
			現場において竹の伐採作業中、8m離れた所で枯れた竹を伐採する				

2017	2	15~16	者がおり、その伐採した竹が倒れた際、被災者のヘルメットをかぶった頭に避ける間もなく倒れ落ち負傷した。	62	60209	4	—
2017	2	11~12	自社倉庫にて、型枠を製作中、倉庫にある型枠を使う為バールで解体中、板がめくれると同時に異物がはじかれて目に刺さり左目を負傷した。	43	30209	4	1~9
2017	2	15~16	会社整備工場にて、車のタイヤ交換の為、定位置に駐車し、座席から降りる際、タイヤの歯止めに使用していた角材に足が引っ掛かり、転倒し、その時、左足を捻ってしまい、左足首の負傷となった。	49	40301	1	30~ 49
2017	3	9~10	一般不燃物（丸太、長さ40cm~50cm、太さ直径25cm位）を塵芥車に積み込み中、左手中指を挟み骨折した。	62	150103	7	10~ 29
2017	3	17~18	店内トレーニングコーナーにてレイアウト変更作業中、不要な木製棚板を6枚まとめて持ち上げた際、腰部に痛みを感じ一時作業を中断した。一旦痛みが和らいだため勤務を続行し帰宅したが、腰の激痛で身動きが取れなくなり救急搬送された。	21	80209	19	50~ 99
2017	3	23~24	夜間の荷降ろしのあと荷台から飛び降りたとき、暗くて下が見えず荷締めを使用していた角材の上ののってしまい、靭帯損傷を負った。	49	40301	3	1~9
2017	3	16~17	資材置場にて1人で作業中に、物置上の資材を取るためにバタ角（120mm×120mm）の上に乗って作業をしていたが、バランスを崩してしまい、そのまま倒れて左足首を捻り負傷した。	22	30201	2	30~ 49
2017	3	13~14	倉庫内で出荷する木材の取り出し中、ラック上に積まれた木材の上段部分を取り出したときに、その下にあった木材が崩れて落下し、左足首に当たり受傷した。	47	10409	4	50~ 99
			産業廃棄物の中間処理を行っている工場で作業者として作業時の事故である。プラント中にある手選室で、選別作業終了後、コンベアの先に取り付けてあるスクラップを取り除く為の自選機が				

2017	3	17~18	あって、自選機コンベアーの引っ掛かったスクラップを取り除こうとして角材を持って処理した際、持ってた角材を動いているコンベアー内側に落とし、その落とした角材がすぐ近くで回っているローラーに巻き込まれ一回転し、ローラー近くにあった左手首付近を直撃強打し、手首を痛めた。	68	150102	4	10~ 29
2017	3	14~15	新築工事で木工事加工中、手かんなどで柱を削っているとき、誤って手のひらにトゲがささった。	69	30202	8	1~9
2017	3	22~23	お客様への貸出用傘を取りに分電盤室へ入室しようとして扉を開けた際、室内に立て掛けていた長机が倒れ、顔面に直撃し、左の目頭付近に約2.5cmの裂傷を負った。	26	140309	4	10~ 29
2017	3	9~10	解体現場にて、解体作業中に出た木材の積み込みの際、トラック荷台で廃材を整理している最中に木材から突き出した釘で右足裏を負傷した。	41	30202	9	1~9
2017	3	14~15	解体現場内で搬出する木材を重機でコンテナに集積していたところ、木材が重機のアタッチメントに挟まり、取ろうとして重機アタッチメントを上を上げて、その下に入り、人力で外そうとした勢いで、コンテナの秤と木材の間に親指が挟まり骨折と裂傷を負った。	51	30201	4	1~9
2017	3	11~12	敷地内の作業場にて、木材を丸ノコで切断する際に小さな板を更に小割にしようとしたとき、部材が跳ねて左手親指、人差し指の皮膚が切れてしまった。	67	170209	8	50~ 99
2017	3	17~18	倉庫において、海上コンテナへの荷出貨物の積み込み作業を行っていた際、貨物を固定する為の角材（60cm×10cm）がパレット上（床面から約80cm）から落下し、作業者の左足に当たり負傷した。	40	50201	4	1~9
2017	3	15~16	山林で五切作業をしているとき、チェーンソーで切った残りの材が、自分の方に押されてきて、左ひざに当たり、押し倒されて左ひざ内側のじん帯を損傷した。	65	10409	6	1~9

2017	3	4~5	工場にて夜間作業中、山留材として使用したコンパネを2tダンプから降ろそうとした時、コンパネを持った手が滑り、ダンプの荷台とコンパネの間に指を挟んだ。	46	30201	4	10~ 29
2017	3	10~11	角材を動かし選別していたとき、角材の間に浅木がかっているのをノコギリで切っていたところ、角材が左足首に倒れかかり動けなくなった。	59	10401	5	10~ 29
2017	3	14~15	チップ工場で丸太をとびを使って左側に移動しようとしたところ、とびの先が柄からぬけた為バランスをくずし、勢いのついた丸太が左足先にのってしまった。	62	60201	7	1~9
2017	3	8~9	材木積み込み土場でトラックに荷物（材木）を積み込み中、クレーンで材木をつり上げたところ、材木が振れてほかの材木にあたり、その材木が足に接触して怪我をする。	65	40301	6	1~9
2017	3	15~16	材木を降ろす際はガッチャをゆるめワイヤをはずすのだが、材木の太さ長さの違いもあり、すでに落ちそうになっていた4mの材木が荷台から落下した。	60	40301	4	10~ 29
2017	3	9~10	当該新築工事現場1階土間上で壁に立てかけていた、プラスターボード（1820mm×910mm×12.5mm）約26枚を壁から離そうとし、重量を支えきれず、プラスターボードが被災者の方に倒れてきて右足が下敷きになった。	21	30201	6	30~ 49
2017	3	14~15	単板置場で単板の検品作業中、60cm程の高さに積まれた単板をリングの上に置こうとした時、手が滑って足の上に落とした。安全靴を履いていなかった為、足の甲を骨折した。	67	10402	4	10~ 29
2017	3	4~5	トラック荷台にて資材（コンパネ、発泡等）を片付け作業中、誤ってコンパネの端を踏み、左足首をひねった。	46	40301	19	10~ 29
2017	3	9~10	工場内の作業台にて、看板用の札を作る為にボール紙を定規を当ててカッターで切っていたところ、力が入り過ぎ手元が狂い、自身の左親指の付け根をカッターで切ってしまう怪我をした。	32	30202	7	1~9

2017	3	14~15	鋼材（パイプ）を積込するために荷台の上に乗る、事前準備作業（りん木を敷く作業）をしている最中に、自分が前に敷いたりん木（100cm×100cm）を踏んでしまい、左足首を捻り負傷した。	47	40309	19	30~ 49
2017	3	9~10	台車で丸太を製材していて、それを台車から降ろす時、重いので二人でさげていたが、手が滑って落としてしまい、左手人差し指を挟んだ。	28	10401	4	1~9
2017	3	10~11	倉庫でダンボールを搬出中、床の板がずれていたのに気付かず、足を取られて転倒し、右肩を強打した。	54	80209	2	1~9
2017	3	9~10	3ヤード内に於いて、荷造りに使用する材木の束をトレーラー据付の道具箱から取り出し、荷台上に上げる作業中、そのうち数本が束から抜け落ち、左足小指を直撃した。安全靴を使用していたが、つま先の鋼板部分から外れた位置にある小指に当たり骨折した。	54	40301	6	10~ 29
2017	3	13~14	工場ブラスト作業室のドア（出入口）をブラスト室内から養生をするため、養生用のベニヤ板（1800×1000×10、重さ約10kg）を段取りする際、移動させる為に台車（高さ600）に積もうとして両手でベニヤ板を抱え上げようとした時、右膝に鈍い痛みを感じた。膝に違和感を覚えたものの、挫っただけだと思い様子を見ていたが、日増しに痛みが激しくなってきた、靭帯損傷との診断を受けた。	42	11209	19	100 ~ 299
2017	3	11~12	事業所作業内において、チップの搬入口に大きい端材が引っ掛かっていたので機械のスイッチを切った後、止まったことを確認し、引っ掛かっている端材を取ろうとした際に端材と鉄板の角に指を挟み、右手第2指を負傷した。	64	10401	7	10~ 29
2017	4	16~ 17	作業終了時、あゆみ板を車に積込中、手が滑って足に落下して、けがをしてしまった。	58	30309	4	1~9
2017	4	11~	敷地内の竹林において、伐採した竹を粉碎機で細かくチップ化するため機械まで運ぶ際に、竹の切株を踏んでしまい、左足首をひ	33	30199	2	10~

		12	ねって負傷した。					29
2017	4	11～ 12	本社工場にてカラ松の製材作業中、角挽きツインソー（1号機）の作業者が、送台車のレールにヤニが付いて動きが鈍くなったので油をさしていた時、テーブルツインソー（2号機）の作業者が製品置場に材が溜まっていたので材を戻したところ、油をさしていた作業者の右ふくらはぎ部分が戻した材と製材品送りのアングルに挟まれ負傷した。尚、1号機の作業者と2号機の作業者の間に機械があり死角になっており、お互いの姿が見えない状況になっていた。 ※製材の流れ：角挽きツインソー（1号機）→テーブルツインソー（2号機）	35	10401	7	1～9	
2017	4	15～ 16	倉庫内にてトラックへ塩ビパイプを積み込む際、パイプを持ち上げた振動で仮置きしていた他のパイプが背後から倒れた。パイプは首後ろに当たり、痛みが出た部分をすぐにアイシングと湿布をした。翌日は痛みを感じながらも通常業務を行ったが、痛みが酷くなった。	20	80209	5	10～ 29	
2017	4	13～ 14	仕事場で剪定の作業中、剪定した枝を処分しやすくする為斧で短く切っている時に、強く腰を痛めてしまった。	23	150102	19	1～9	
2017	4	21～ 22	トラックの荷台で積み荷を固定しようと木箱（257×102×25cm）を飛び越えようとした際、木箱に足をひっかけ転倒し、右足首外側くるぶし下を剥離骨折をした。	49	40301	2	10～ 29	
2017	4	15～ 16	新築マンション3階から5階へ型枠材を荷揚げ作業中、5階にいる作業員が型枠パネルを持ち上げる際に手を滑らせ、5階から4階約2.9m下へ落下させた。その際、4階作業員が落下してきたパネルにより足を負傷した。	23	30201	4	30～ 49	
2017	4	6～7	作業敷地内にある作業小屋において、工事現場に向かう作業員のため早朝に出勤し、1人で小屋の暖をとろうと薪ストーブに火をおこそうとしたところ火が燃え広がり、燃え広がった際や消火活動	70	30199	16	10～ 29	

			時に下半身（大腿部や臀部など）に火傷を負った。				
2017	4	14～ 15	会社構内のストックヤードに於いて商品のサイズを確認の為、商品の側面より商品に足を掛け、3段目の商品を確認していた所商品に掛けた足が滑りそのままの態勢で地面に着地した際に左足が台木の上に乗る、足首を捻ってしまい受傷した。	56	40301	1	30～ 49
2017	4	13～ 14	作業所前に停めた2tダンプより木材（4寸角長さ4m）を移動させる時、手が滑り左手中指が下敷きになり負傷した。大したことは無いと思い仕事を続けたが、痛みが強くなった。	23	30202	7	1～9
2017	4	14～ 15	新築工事において、小屋梁りに置いてある垂木45×45×200mm（重さ2.5kg）を2本両手で持ち、引き出そうとした際、右人差し指を挟み負傷した。様子を見たが腫れがひどくなり、痛みが取れなかった。	63	30202	7	1～9
2017	4	10～ 11	ネギトロを作成するライン上で、右方向から流れてきたネギトロが本人の左側にあるローラーによって平らにされるのだが、右側に気をとられて左手をついた所、ローラーに巻き込まれてしまった。	39	10901	2	1～9
2017	4	14～ 15	土場内作業（ゴミ仕分）において車両から畳をおろす際に既存の畳おろしの場所の上に置くシートを固定する物150角の角柱木材（長さ1m位）を足下に落下させる。	56	30209	4	10～ 29
2017	4	9～ 10	トラックから降りるときに地面にマツボ（角材）が置いてあることを確認しながらまたごうとしたが、マツボ（角材）に触れてバランスを崩して後向きにひっくりかえって倒れた。	64	80401	3	10～ 29
2017	4	9～ 10	住宅解体工事で丸太組みを1人で行う事になり、丸太を1人で持つのは難しく、丸太を持ち上げた時に頭の上から落としてしまい、首を痛めた。当日はずっと首が痛く、後日に頸椎捻挫と診断された。	35	30309	19	10～ 29
		10～	1階の冷蔵倉庫内で、単独で高さ2m程の荷物の上にあるパレット				30～

2017	4	11	(約25kg、1.1㎡)を軍手をはめた両手で降ろそうとしたところ、誤って左足の親指に落としてしまった。	50	80109	4	49
2017	4	13～ 14	汚水管布設工事にて矢板の整理作業中に誤って左手薬指の先端を挟んだ。	57	30110	7	10～ 29
2017	4	23～ 24	発着台において、パレット置場へ移動させた5台の折りたたみパレットを整理するため、外側のパレットから1台ずつ動かしていたところ、パレットがわずかな床の段差でバランスを崩し、残り4台にひっかかって社員の方へ倒れかかってきたので、とっさに支えようとしたが支えきれず、身体の左側とお尻を強打する。	55	110101	5	500 ～ 999
2017	4	3～4	当支店構内において仕分け作業をしている際に、トラックの荷台とホームを繋いでいる鉄板の高さを調整する為に、鉄板の下に敷いた木材につまずいて転倒し、左膝蓋骨を骨折する。	60	170101	2	30～ 49
2017	4	10～ 11	平たんな場所で伐採作業中、伐倒して退避する際に転倒し、倒した木に足をすくわれ右足を骨折した。	37	60201	2	10～ 29
2017	4	10～ 11	会社資材置場にて、片付け作業中に重ねていた合板の上で足を滑らせて横向きに転倒し、右側の腕と足を打撲した。	67	30105	2	30～ 49
2017	4	14～ 15	匠工房にて、工房内の片付け作業を行っていた。片づけながら工房内を移動していた際、作業台(H800mm)に置いていた製作物に腰をぶつけてバランスを崩し、左に転倒して腰を打ち骨折した。	73	10503	2	1～9
2017	5	7～8	会社構内において原木積込途中のトレーラーから整備従業員が車両整備のためトレーラーヘッドを切り離すため、トレーラーレースのアウトリガー(ジャッキ)を降ろす作業中、トレーラーレースの左側上部から固定前の原木が落下し、従業員の背面に直撃し転倒し、背骨の一部を骨折した。	66	11701	4	10～ 29
2017	5	14～	会社の向い側にある作業場において、伐採された寸法80cm程度の木をコンテナ車に積み込み作業中に、木材を転がして移動させて	37	150109	7	10～

2017	5	9～ 10	製材工場内で、製材した木材から4m×4.9cm×2.1cmを作るため2人で作業中に、下に置いてあった木材の隙間に足を突っ込んで倒れ、足首が曲がって負傷した。	52	10401	2	1～9
2017	5	2～3	工場内で積み上げられたT字鋼（長さ約6m、重さ約280kg）をクレーンで吊り上げた時、積み上げられたT字鋼がバランスを崩して両足に落下し、右足の外くるぶしを骨折し、左足を打撲した。	67	11209	4	1～9
2017	5	20～ 21	店内エアコンコーナーにて、お客様にエアコンを説明中に、突然、空気清浄器案内ディスプレイモニター什器の側面木枠が弾ける様に外れ、重量約8～10kg位の側面木枠が背後より倒れてきた。倒れてきた木枠が背中に当たり、重みと衝撃で身体が倒れそうになった。	52	170101	6	100 ～ 299
2017	5	20～ 21	店内エアコンコーナーにて、お客様にエアコンを説明中に、突然、空気清浄器案内ディスプレイモニター什器の側面木枠が弾ける様に外れ、重量約8～10kg位の側面木枠が背後より倒れてきた。倒れてきた木枠が背中に当たり、重みと衝撃で身体が倒れそうになった。	52	80109	6	100 ～ 299
2017	5	10～ 11	園庭に置いてあった長さ約3m、直径約20cmの丸太を撤去する際に誤って足の上に落とした。	57	130201	5	100 ～ 299
2017	5	8～9	工場内に立て掛けてあった数枚の板の中から1枚を抜き取るために手前の板を2人で持っていた。1人が中の板を抜くために離れたところ、持っていた手前の板が、本人の認識以上に重かったため、支えきれずに足の上に倒れてきた。	17	10501	6	10～ 29
2017	5	13～ 14	材木の上に乗って作業をしていて地面に下りた際、下にあった材木の上に乗ってしまい、右足首を負傷した。	25	50101	3	1～9
2017	5	11～ 12	調整池間知ブロック裏込めコンクリートの型枠（鋼製）の脱型中、無理な姿勢で型枠を引き上げた時に腰の筋を伸ばした。	21	30109	19	10～ 29

2017	5	10～ 11	木質チップをトラックに積み込む作業をしていた際、積み込む作業が終わって二人で掃除していたところ、天井（高さ6m）にあるチップの排出口からチップの塊（30cm四方）が落下し、箒で掃除をしていた被災者の背中に直撃した。	33	10409	6	30～ 49
2017	5	10～ 11	納品作業中、トラック庫内で荷卸し作業をしていた時、庫内の一番前の壁に立て掛けてあった板（約90cm×約180cm）が倒れてきたことに気付かず背中に当たり転倒した。その際、膝に体重がのった状態で床にぶつかり、左膝蓋骨骨折を負った。かなりの痛みがあったが業務を終え、その後、立つことができなくなった。	41	40301	5	30～ 49
2017	5	17～ 18	倉庫内において、フォークリフトに乗って積み込み作業をしていたとき、リフトから降りる際に厘木（短い木の棒）の上に足を着いたため、左足首を捻り骨折した。	49	10401	19	30～ 49
2017	5	21～ 22	事業先で、製品の梱包に使用したコンパネ（縦1.8m×横1m、重量10kg位）を車両の前部荷台の壁に立て掛け、動かないように車両に固定されているバンドを引っ張った時に固定されている片方のフックが外れ、そのはずみで尻もちと両手を床につき、その時にコンパネ7枚が前方に倒れ、左手の指に落ちて骨折した。	42	40301	5	30～ 49
2017	6	7～8	早朝からの勤務の為、事務所に出勤した。外勤の支度をしながら事務所内を歩いていた時に、コピー機下の木の台の角に左足小指をぶつけた。腫れと痛みがあったが外勤に出かけ、活動を終えて夜に事務所に戻り、所長に報告した。	41	130201	3	50～ 99
2017	6	14～ 15	当社木材集積場にて手で木の皮の整理をしていた際、木の皮のとげが右手薬指に刺さり、当初は異常が無かったが、日ごとに指が腫れて痛みを伴ってきた。	74	40301	90	10～ 29
2017	6	8～9	事業場で借り上げしている駐車場での災害車から降り、横にあった木材に躓き転倒した。	49	130102	2	1～9
2017	6	10～ 11	解体木材をダンプ車から降ろす時、後部補助板を外し、移動しようとした時、木材が滑り落ちて胸部を打撲した。	61	30209	4	1～9

2017	6	14～ 15	当日は雨が降っていたので、会社の指示で各現場からあがってきた残材、資材等の整理、片付け作業をしていて、再利用する型枠用算木（幅5cm×奥行2cm×長さ150cm）を軍手をした両手で持ち、資材置場の棚に置こうと手を算木の上で横にすべらせた時、算木が割れ、ささくれ立っていてトゲのように突き出ていた木の角に、指先を突き刺してしまい受傷した。	61	30106	8	1～9
2017	6	19～ 20	休憩時間に屋外へ出ようと工場内を歩行中、前方に製品を置くための板を発見し、そのまま踏み越えようと足を乗せたところで板が滑り、転倒して右膝を強打した。	39	10805	2	10～ 29
2017	6	19～ 20	休憩時間に屋外へ出ようと工場内を歩行中、前方に製品を置くための板を発見し、そのまま踏み越えようと足を乗せたところで板が滑り、転倒して右膝を強打した。	39	170101	2	10～ 29
2017	6	12～ 13	清掃ターミナル女子更衣室にて、帰社準備（着替え）が終わり、ロッカー横にある傘を取ろうとした時、足元に着替え用の板（長さ180cm×幅45cm×高さ5.5cm）があり届かなかった為、板の端に足をのせようとしたが、板に引っ掛かり転倒した際、床（コンクリート）に左手をつき負傷したものである。（当日は、かかとのないサンダルを履いていた。） 今後は、履き物を脱いで、着替え用の板にのって行動するようにする。	59	150101	2	100 ～ 299
2017	6	21～ 22	本館17階レストランのバックヤードで廃油缶を台車から降ろす際、左手中指・小指の第一関節を切創し、応急処置後、救急車で搬送された。	20	140101	8	1000 ～ 9999
2017	6	10～ 11	工場構内でコンクリート二次製品2個を荷卸中、1個目を卸し、2個目を卸している中、荷台にあった台木（3寸角）の上ののってバランスを崩し、地上に落下し、1個目のブロック角に強打し負傷した。	53	40301	1	1～9
			公園にて立木伐採作業中、対象立木を切った後、地面に降ろして				

2017	6	10～ 11	枝を切り落とす作業に入り、1本枝を切ったところ、突然バランスが崩れて木幹を中心に立木が回転し、他の枝が作業員の背後からもたれ掛かって来て、作業員が転倒し右肘を強打した。	48	60209	6	1～9
2017	6	9～ 10	配達先にて、荷降後の荷台の片付け作業中、コンパネを留めてあったラッシングベルトの捻じれを直そうとベルトを外した際、立て掛けてあったコンパネ20枚が倒れ、左足が挟まり負傷した。	43	40301	5	30～ 49
2017	6	9～ 10	カウンターレーンと客席の間の通路で検品、納品を行っていた。折り畳みコンテナから食材を出し、両手に物を持って移動しようとしたところ、コンテナに足が当たって体のバランスを崩し、転倒してしまった。手がふさがっていたため体左側を強打し、左大腿骨骨折した。	27	10409	6	10～ 29
2017	6	6～7	店内で月1回行うミーティングが終了し、後片付けのため立ち上がって歩きかけた時、作業台横の梱包機の下に床の保護のために敷いてある、厚さ1.5cm程の板の角に足をとられ転倒した。その際、左肩を床に強打して負傷した。	80	80205	2	30～ 49
2017	6	9～ 10	新築工事現場において、動線上に天板が放置されていたため、災害・事故防止のため即時に社員と2名で天板を移動しようとする際、腰を捻りヘルニアを発症した。	63	170101	19	1000 ～ 9999
2017	6	13～ 14	分譲住宅新築工事において、仮止木材（厚さ3cm、幅10.5cm、長さ4m、約5kg）の取り外し作業中、手が届く高さであったため、手を伸ばして作業を行っていたところ、手から木材が離れてしまい、顔に木材が当たり、鼻に骨折を負った。	36	30202	6	1～9
2017	6	9～ 10	倉庫内で約3mの木材を移動するため2人で両端を持ち上げた際、手が滑って木材を離してしまい、落ちて来た木材の端が左足の太股と膝に当たった。	41	170209	4	10～ 29
2017	6	16～ 17	店舗にて、足場の上で作業をしていた元請会社作業員が、誤って木柱（6cm角×2.5mの木材）を直下に垂直に地面に落とし、その木材が、ダンプに廃材を積み込作業中の下請会社の労働者側に倒	54	30201	6	50～ 99

			れ、ヘルメットと右手の甲に当たり負傷した。				
2017	6	8~9	製材所にて、おが屑専用タンクからトラックにおが屑を積み込んでいる時、何らかの要因でトラックの荷台のおが屑に埋もれているところを、製材所の方に発見された。	53	40301	5	10~ 29
2017	6	14~ 15	製材所工場内で木材の選別及び結束の作業中、作業台の製品を押し上げようと踏ん張った際に、右足脹脛に激痛がはしった。	46	10401	19	10~ 29
2017	6	9~ 10	倉庫の卸し場にて、トラック荷台の中で荷物（ロールカーペット）を荷卸し中、トラック前方に立て掛けておいたコンパネが、ロールカーペットの本数が少なくなってきた頃、倒れないと思っていたが、トラック後方を向いてラックに積み上げる作業をしていた被災者の後方に倒れて来て、コンパネと荷物に頭を挟まれた。その際にメガネが割れ、左目と周辺を負傷した。	59	40301	5	30~ 49
2017	6	9~ 10	事業所作業所内において、椋積みする座の所に立っているL棒にリン木を立てるため、丸太（長さ約3m、直径約5cm）を抱えて、前に置いていた杉材（高さ約50cm）の上に乗った際、バランスを崩して落下し、その場に倒れてしまい、杉（長さ4m、直径24cm）位の丸太1本が右足の膝下から足首までの間に落ちてきて負傷した。	20	80109	4	10~ 29
2017	7	9~10	配達先にて配達物の木材（30~40kg程度）を荷受人と一緒に持って運んでいた所、荷受人が木材を落とし、その反動で本人も木材を落下させ、左足親指付け根にあたる。（安全靴は着用していた。）	32	40301	4	10~ 29
2017	7	10~11	カンナ掛けの台へ10.5角をのせて押しながら流していく作業中に、地面より10センチくらいの上り台より右足を踏み外し、角材の角に左わき腹を強打し負傷した。	43	10401	3	1~9
2017	7	7~8	鉄骨造2階建て事務所棟建設工事現場で基礎コンクリート打設前の型枠の修正作業中、地山から型枠へ乗り移る際に土留用単管に腰袋が引っ掛かり、足を踏み外し、前のめりの体勢になったまま型	68	30201	3	1~9

			枠から突出した木材に腹部を強打した。				
2017	7	10~11	被災労働者が荷降ろし先である、新築現場に於いて運搬してきたプレカット材を降ろし終えたところ、位置を数十cmずらして欲しいとの要請があり、5段重ねしたプレカット材（重さ約1.5t）に平ロープを掛けクレーンにより約20cm上げたところで、台木（6cm角）を動かすために手を入れた瞬間、平ロープを掛けていたほぞ（雄部）が折れ、プレカット材と台木の上に左手拇指爪部が挟まれて受傷したもの。（被災労働者は軍手を着用していた）	63	40301	7	1~9
2017	7	13~14	車庫にて資材を片付けようとして、立て掛けてあったコンパネのラッシングを外し、5枚程を倒れないように角度をつけて、1枚を後方へ移動させた時、残りの4枚が自分の方に倒れてきたため押さえきれずトラックボディの外に投げ出され、転落時に右肘を着いてしまい骨折した。	46	40301	5	10~29
2017	7	16~17	住職発注による墓地改良工事にもなうスロープ工事において、墓地内の坂道（傾斜角度20°）で型枠組立作業中、木枠（コンパネ、1.8m×90cm、重量5kg）5~6枚程度を自動車からおろして運搬中（距離5~6m）に体が横むきの状態でもち上げる際に腰に負担がかかり腰を負傷した。	64	30109	19	1~9
2017	7	9~10	事業所内作業場において、木材の片づけ作業をしていたところ、足元の木材に躓いてしまい、その際右ひじから転倒し右肩部と肋骨付近を負傷したもの。	78	10503	2	1~9
2017	7	8~9	当社置き場において加工前の在庫であるベニヤ板（600×1800×2）の移動作業中、平積みされていたベニヤ板約100枚（高さ約1.3m）の上でバランスを崩し、足を踏み外し左足を平積みのベニヤ板とベニヤ板の隙間に落とし受傷した。	23	30201	2	1~9
			梱包作業中にラベルを事務所へ取りに行く際、近道しようと通路ではない場所を通り通路との境目のある柵を跨ごうとして柵に右足が引っ掛かり転倒した。転倒の際、床に右肩部及び右腰部を強				30~

2017	7	11~12	打し大腿骨骨折、股関節骨折と診断される。災害当日は、会社から診察を勧められるが、様子を見て診察しようとは当日は早退し帰宅。翌日痛みが引かなかった。	26	40301	6	49
2017	7	15~16	営業所内の宿舎脱衣所において、風呂の準備を行っていた。すのこを指定の場所へ置くためにすのこを持ち移動中、床が濡れていたこともあり、転倒。後頭部を強打したものである。	39	150102	5	10~ 29
2017	7	15~16	解体工事現場内において、廃材の分別作業をしている時、陶器廃材を運んでいる際、現場内に散らばっている廃材につまずき転倒し、持っていた陶器廃材が割れ、右手首を切り、負傷した。	54	30202	2	1~9
2017	7	10~11	柱の積んであるところからチップにする柱（約15cm角×3m）を取ろうとした所真中あたりの木が崩れて右くるぶしの上に落ちて損傷した。	60	10409	5	1~9
2017	7	20~21	事務所前にて従業員に、翌日の作業工程の確認のために、倉庫の資材を使い、練習をしていたところ、誤って資材を足の上に落としてしまった。	22	30202	4	1~9
2017	7	9~10	荷物を積み込み出発し、翌日朝荷降ろし作業の後、トラックの荷台の片付けをしている時に、緩衝材に使うベニヤ板が倒れ左足ふくらはぎ・甲に当たり負傷した。（会社へ帰る道中腫れてきた）	23	40301	5	10~ 29
2017	7	15~16	工場内にて、約2m程先の場所へ材木（コンパネW1200H2400重さ約20kg1枚）を移動させるため持ち上げた際、手が滑り、50cm程上から左足親指の上にコンパネが落下した。	19	10409	4	10~ 29
2017	7	11~12	当社の工場で、製缶作業中足元に置いてあった盤木に気付かず、端を踏んで右足首をねじったため、骨折した。	49	11209	19	10~ 29
2017	7	9~10	自社栽培地の畑にて、里芋の消毒作業が終わり、ホースを巻いて回収していた。畑の隅の列にあまった種芋を植えてあり、踏まないように注意喚起のために立ててあった農業資材の棒にホースが引っかかった。ホースを取ろうとしゃがもうとした時に、棒が目	19	60101	3	1~9

			に当たった。				
2017	7	11～ 12	足元にあった合板（ベニヤ板）の段差につまずき、左足をくじいた。	56	30201	19	30～ 49
2017	7	16～ 17	解体工事で排出された木くずをダンプカーで自社焼却施設に運搬搬入し、後ろの扉を開けた際、木片（縦10cm×横10cm×長さ50cm）が左手首に落下し受傷した。	64	30209	4	1～9
2017	7	12～ 13	荷受場で商品の入ったオリコンを移動したときに、壁面に立てて置いたバックルーム用ラックの棚板が倒れてきて、左腕と左胸にぶつかった。その時に倒れてきた棚板を支えようとした際、腰と左腕を痛めた。	48	80209	5	30～ 49
2017	7	8～9	店舗内資材館木材売場において、品出し作業を実施中、カラー合板（910mm×1820mm、約2.1kg/枚）をラップで一纏めにした12枚束（約25.2kg）を、立て掛けた状態で足元から持ち上げようとした際に、滑り落ちてきたため、地面とカラー合板の間に左手を挟み負傷した。	46	80209	7	100～ 299
2017	7	10～ 11	当社置き場において、まくら木の片付け作業中、積み重なっていたまくら木が崩れ、左肩に激突し負傷した。	19	30209	5	30～ 49
2017	7	9～ 10	店舗ホール内で、下げた食器を台の上に置き、戻ろうとした際に台の脚にサンダルが挟まって転んでしまい、近くにある台に頭部をぶつけてしまった。	57	140201	2	—
2017	7	20～ 21	トラックターミナルで荷物の積込中、トラック荷台内（箱車）の壁にビニール紐で固定してあった養生板（ベニヤ板）をずらそうと紐を引っ張っていたところ、紐が勢いよく切れ、その衝撃で右肩を痛めたものである。	54	40301	19	50～ 99
2017	7	10～ 11	剪定枝を車両に入れる作業中に、車両から飛び出した剪定枝の束が左手第4指に当たり、その勢いで投入口の鉄製の部分に挟み、負傷した。	35	150102	7	100～ 299

2017	7	6~7	荷物を積み込むため10tウイング車の後ろの観音扉を開けたとき、コンパネ数枚が左足の上に落下し、左足の親指・人差し指・中指を骨折した。	38	40301	4	—
2017	7	8~9	トラック荷台の部材運搬中、後ろ向きに移動していた際、足元に落ちていたロール材を踏んでしまいバランスを崩し、後ろへ転倒した。	28	11502	2	1000 ~ 9999
2017	7	11~12	建設現場にて、建築資材（石膏ボード）を車両荷台より数枚ずつ現場へ担ぎ入れ、荷降ろし作業を行っているとき、背中に石膏ボードを背負い、後ろ手で支えて運んでいたところ、突然力が抜け、肩が落ちるような感覚で、右手の力が入らなくなった。	47	40301	19	300 ~ 499
2017	7	2~3	夜勤勤務中、原木を薄く切削した単板が堆積する機械で、単板が堆積する下に敷板（1m×2m、重さ約18kg）を敷こうとしたところ、敷板が高さ160cm位高く積まれていた。下に降ろすときに手前に傾けたため、右足の上に敷板が落下した。狭い場所で避けることができなかった。	25	10402	4	100 ~ 299
2017	7	8~9	当社木材加工場において、材料の整理整頓作業を行っていた。その際、床に置いてあった1m程の端材を移動させようと手で持上げたとき、腰に激痛があり、その場に座り込んでしまった。その後は人の手を借りないと歩けない状態になってしまった。	24	30106	19	50~ 99
2017	7	16~17	当社薪センターより200m南にある貯木場にて、薪にする丸太を玉切りしていた。その作業中、後方に野積みしていた丸太（長さ約4m、直径約50cm）1本が、約1mの高さから転がり落ち、被災者の右膝に当たり負傷した。発生当時、野積みしている丸太を1本ずつ重機で下ろし、地面で玉切りをする作業を2名で行っていて、転がり落ちるまで丸太はその位置で留まっていたが、何らかの振動で転がったと思われる。	35	80209	4	1~9
		14~	現場にて、トラックの荷台に上がって積み込んだ材木（丸太）を荷締める作業中、フックをトラックに掛けようとしたとき、雨で				

2017	7	15	材木が濡れていたため足元が滑り、3m下の地面（道路）に体の右側から落ち、肋骨を骨折した（右側6本）。	42	40301	1	1～9
2017	7	10～11	事務所入口にて、商品を取りに行こうとした際、木製の板の上で転倒した。その板は、半分には滑り止めがあり、通常は事務所の出入り用に使っているが、そのときは滑り止めがない半分の方を、滑り易い靴で歩いて転倒し、背中の上部を打った。	53	80101	2	1～9
2017	7	15～16	木材置場において、商品である木材を高さ2mのところから取り出すとき、足場にしていた木材がぐらついたため、危険を感知し飛び降りたところ、右足踵を負傷した。	46	10401	3	10～29
2017	7	7～8	被災者は、当社倉庫の前で4tトラックに荷物を積み込む作業をしていた。積み込み終了後、シートを掛け終わり、荷台から下りたときに、下に置いていた角材の上に左足が乗っかり、足首を捻り負傷した。	63	40301	3	30～49
2017	7	14～15	工場にて木材を運んで地面に置く際に、木材の下端に取付してある金物で左足親指の先を挟み負傷した。	21	10409	7	50～99
2017	7	12～13	建築資材の木材を加工する工場にて、加工された木材を梱包するため、木材同士を束ねようとしたとき、木材（高さ10.5cm、幅10.5cm、長さ350cm）が、右足の安全靴に落下（高さ1m）し、右足の甲を負傷した。	39	10409	4	100～299
2017	7	12～13	建築資材の木材を加工する工場にて、加工された木材を梱包するため、木材同士を束ねようとしたとき、木材（高さ10.5cm、幅10.5cm、長さ350cm）が、右足の安全靴に落下（高さ1m）し、右足の甲を負傷した。	39	170101	4	100～299
2017	7	15～16	作業場にて出荷の荷作り作業中、丸太に巻きダンボールを括りつけていたとき、丸太を載せる台と丸太の間で左手の中指を挟んだ。	63	60209	7	1～9
			木造住宅内部解体工事現場にて、廃材を室内から屋外に搬出時に				

2017	7	9~ 10	バランスを崩し、自分が持っていた廃材を落とした際に、左腕を負傷した。	23	30209	4	1~9
2017	7	14~ 15	縫製作業中、作業場の床で、床のトゲが刺さり負傷した。その日は大丈夫だと思い病院には行かず、その後も就労したが、次第に腫れ上り、痛みも強くなってきた。	66	10409	90	1~9
2017	7	11~ 12	被災者は、木工場の製造現場で梱包場所に保管している材料（4.2m×0.5m×3cmの木材）を引っ張り出していたが、長いので途中で持ち手を変えたときに、材料が引っ掛かり、手を滑らせ落としそうになったので、足を避けたつもりが避けた方向に材料の鋭角部分が落下して、右足を強打し負傷した。	31	10503	4	1~9
2017	7	5~6	配達を済ませて会社のトラック車庫に帰り、洗車をするために洗車場に車を移動させ、運転席から車外に出たときに、およそ20cmの角材を踏み、左足の親指の爪を剥がした。	24	40309	3	10~ 29
2017	7	13~ 14	倉庫内において、単独で整理整頓をしていたとき、立て掛けて置かれたバタ角（建設工事のコンクリート打設の際に型枠仮設補強などに使われる、約10cmの角材）が倒れて来て、首を負傷した。	56	30199	5	30~ 49
2017	7	16~ 17	事業所倉庫作業場で増築工事中、テント（ブルーシート）片付ける際、角材に躓いて転倒し、右中指の第2関節を脱臼した。	58	30202	2	1~9
2017	7	11~ 12	市場構内で原木丸太の椋積作業中、1本が不揃いになったので安全を確認した上で、1m弱の所に登って直していた。そのとき、バランスを崩しそうになったので飛び降りたところ、左足かかとを負傷した。	48	80209	1	10~ 29
2017	7	18~ 19	リップソーで作業中、ベニアを4枚置いていた一番上のベニアを取ったとき、下に置いていた3枚のベニアと一緒に浮き上がり、支えようとしたが間に合わず、落ちてしまった。	22	10501	4	50~ 99
2017	7	8~9	工場塗装場で歩行中、床に敷いてある厚さ3mmのベニヤ板に躓き、転倒を避けるため踏ん張ったときに足を捻ってしまい、右足首を	58	11002	19	100~

			骨折した。					299
2017	7	11~ 12	山林で玉切りをして進んでいたところ、材木（直径30cm、長さ4m）が転がり、左足を負傷した。材木が転がらないように処置をしなかったために負傷したものである。	66	60201	6		1~9
2017	7	14~ 15	事務所作業場において、完成した垂木（縦4m×横45cm、重さ約5kg）を結束後、2人で運搬するため、中腰になり製品を抱え移動したとき（この日は約800回この作業を繰り返した）、以前より違和感があった腰に痛みが発生した。しばらく様子を見ながら業務を続けていたが、後日、動けないほどの痛みが発生した。	40	10401	19		10~ 29
2017	9	9~ 10	第一工場の製材工場内にある製材送りローラーの設置している、被災労働者が製材送りローラーより落ちそうになっていた重い製材品を送りローラーに戻そうとしていた。被災労働者が作業をしている時、送りローラーに押し戻そうとしていた重い製材品が倒れてきた。送りローラーの端に左手をのせ、重い製材品と送りローラーの端の間に左手中指を挟み、左手中指の先を1cmくらい潰す傷を負った。	45	10401	7		10~ 29
2017	9	12~ 13	配送先にて1梱包20kg程度のフロア材を2梱包肩にかついで高さ1m位のフロア材の上に降ろそうとした際、左手中指をフロア材に挟んで負傷した。	42	40301	7		10~ 29
2017	9	16~ 17	当社従業員は、当社構内にて荷締め作業を終了し、積荷から荷台へ降りた際、下に台木がありその台木に足がかかってしまい右足首をひねって負傷した。診断結果は右第5中足骨骨折である。	47	40301	3		50~ 99
2017	9	10~ 11	ドリルを使用し小さなステンレス板にネジ穴を開ける作業中に、板を左足で押さえ右腕でドリルを持ちスイッチをONにして穴を開けた後に、スイッチがON固定になっている事に気付かず押さえていた左足を離した事で板が回転し右太ももにあたり、切傷したものである。	34	10104	6		100 ~ 299
			現場にて、ミキサー車をバック誘導している時に、ミキサー車が					100

2017	9	9~ 10	カーブに差し掛かった所で、テントの横に置いてあった材木に気づかず後方に転倒して左手をついた際に被災した。	50	170201	2	~ 299
2017	9	9~ 10	お店の敷地内の物置で扉が外れ、足に落ちて指先が負傷した。	19	80302	4	30~ 49
2017	9	16~ 17	住宅建築現場において、被災労働者がバルコニー土間枠固定の貫を引き抜こうとしたところ、貫が折れてそのまま700mm高低差のある右後方に倒れ込み、地面に右手をつき負傷した。	39	30201	2	1~9
2017	9	11~ 12	保育園のホール内の倉庫の中に巧技台を片付けていた時に、壁に斜めに立てかけ跳び箱で押さえていたと思われるビーム（細長い板）が、跳び箱が少しずれたことにより2本倒れてきた。その時、腰を曲げており、そこにビームが当たり負傷した。	47	130201	5	50~ 99
2017	9	14~ 15	リサイクル施設に廃棄物を持ち込み、荷降ろしのためトラックのあおりを開けた際、剪定枝（直径30~40cm、長さ1m弱）が、落下して左足にあたり裂傷および左足親指を骨折負傷した。	40	60101	4	1~9
2017	9	11~ 12	倒した外壁と残っている腰壁の鉄筋を切断している時に、壁が反動で下がり腰壁に乗せていた左足の安全靴の上に当たり負傷した。	45	30201	4	1~9
2017	9	13~ 14	倒木処理中、倒木の根元チェーンソーで切断したとき、切断した木が跳ね左足にあたり負傷した。	36	60201	4	100 ~ 299
2017	9	14~ 15	玉切り作業中、丸太が右足付近にあたり負傷した。	64	60201	6	100 ~ 299
2017	9	10~	作業場において、ウッドパネルの材料になるサントスローズウッドをサンディングする機械加工中、発生した粉塵を吸い込む集塵機清掃時に、半袖作業服、長ズボン、手袋、帽子、安全靴を着用していたが、木粉が露出していた両腕と顔の皮膚に付着し粉塵暴	40	10805	12	~ 100

		11	露が発生した。当日、本人が腕に皮疹を確認したが軽かったので様子見をしていたところ、その後手や足にも拡がり症状が進行し悪化したので後日受診した。					299
2017	9	14～ 15	型枠を作成中、仮に柱に立掛けてあるコンパネ（1600×900重さ約15kg木製）の下に置いてあったベニヤをしゃがんで引っ張った際、コンパネが倒れ首の後ろをコンパネの側面が直撃し負傷した。	25	30309	5	1～9	
2017	9	9～ 10	山林で、伐木造材作業中、重なって伐倒してあった木の上側の木を造材した時に、玉切った木が自分の方へ落ち、左足に当たり負傷した。	47	60209	4	10～ 29	
2017	9	9～ 10	新築工場の現場において、家の材料となる30cm四方で長さ4mの角材を大工見習いのAさんと横に移動させていた時に、自分は手を離したが、Aさんが離さず角材のバランスがくずれて、左の甲に落ちた為に負傷した。	35	30209	4	30～ 49	
2017	9	14～ 15	自社の資材置場で、段取り中に、足元に置いてあった資材につまづき転倒した時に左手をついて、その左手を骨折した。	21	30209	2	1～9	
2017	9	16～ 17	作業場で抜型の材料であるベニヤ板を棚から取り出す際に、誤って肩に負担が掛かり、右肩を傷めたものである。	22	11301	19	10～ 29	
2017	9	9～ 10	中学校便所改修工場の現場である1階の工事エリアにおいて停電が発生したためブレーカーを復旧しようとしたところ、分電盤の扉にフレキシブルボードが40枚ほど立て掛けてあったため開閉できない状況だったので、ボードを仮設間仕切りに立て掛け人力で支えながら扉を開けようとしたところ支えきれず、当該作業員の右足に倒れ地面との間に挟み負傷したものである。	36	30209	5	1～9	
2017	9	9～ 10	新築工場で材料搬入作業中に、搬入済間柱を整理していたところ、積み上げた間柱が崩れ落ち、右膝を負傷した。	29	30202	5	1～9	
			敷地内で、木材の荷降ろし作業の準備のため荷物を支えていた					

2017	9	9~ 10	ラッシングベルトをはずした直後に積荷の丸太が1本頭上に落下して来た、その場で、後ろに倒れた。	57	40302	4	1~9
2017	9	11~ 12	竹炭を作るため、竹山から切り出して運搬用のトラックに積み込む際、トラックに積んだ竹が荷くずれを起こし右足に当たり負傷した。	47	170209	4	1~9
2017	9	13~ 14	林内作業車にて木材を運搬、土場にて木材を降ろす作業を行ったが、サイドポールが上手く外れず、木材が降ろせなかった、そこで、サイドポールに引っかかっていた比較的細い木材を動かした所、思いがけずサイドポールが外れ林内車に積んでいた木材が被災労働者に向かってくずれ落ちて来た、被災労働者はあらかじめ、はい積してあった木材を背にして作業をしていたため、木材に前後から足を挟まれるかたちとなった。	49	60201	7	1~9
2017	9	16~ 17	なだらかな山林で伐採した杉竹を重機で集材中、竹をつかんだところ、竹がすべり重機のフロント部分から竹が入り、足を負傷した。	55	60201	6	1~9
2017	9	8~9	竹林にて綱締め用竹の伐採作業中、伐採した竹を移動する際、誤って自分の左足へ竹を乗せ、左足甲挫傷を負った。	48	70209	4	50~ 99
2017	9	13~ 14	当社作業場において焼き芋に使用する炭窯用の木材（直径30cm、長さ30cm）の整頓作業を行っている時に、誤って手を滑らせ、左足に落としてしまい裂創した。	52	60101	4	30~ 49
2017	9	13~ 14	当組合の加工工場内において、鉄筋加工材の仕分け中に、鉄筋と鉄筋の間にあるまくら木から誤って加工材が落ち、左手小指第一関節が挟まれて骨折した。	43	11209	7	1~9
2017	10	14~ 15	乗馬クラブ内の各種運搬作業中に高い箇所からの荷受け作業時に、足元にあった木材に乗って作業していたところ、木材の一部に穴が開いており、その穴に足首がはまり込み、その部分を中心として転倒した結果、骨折となった。	36	170101	2	10~ 29

2017	10	9～ 10	解体工事現場において、ミニ重機を使つての床材の撤去作業中、弓なりになった床板より桟木（5×5×100cm）が外れて飛び、近くで作業していた被災者の左腕に当たり、負傷したもの。	71	30202	4	—
2017	10	14～ 15	共同住宅解体工事で、資材置場で木の整理中に木材を積み上げていたところ、木材が崩れ出て右足に当たり骨折した。	71	30309	5	10～ 29
2017	10	13～ 14	太陽光発電設置工事現場において、丸太を切断中に、誤って右足甲に丸太を落としてしまい、負傷したもの。	32	30302	4	1～9
2017	10	9～ 10	駐車場にて従業員（被災した者ではない）がフォークリフトで合板を2山重ねて運んでいた。地面が平らでなく不安定なため、1山にしようと一旦停止したが、フォークリフトの爪を前に出さず、そのままの状態を下げてしまったために、車輪のアームに当たり、合板が隣に駐車していた車の屋根に崩れ落ちた。被災労働者を含め、複数名で合板が山を片付けていたが、板を取り除いた際に合板の山が崩れてしまい、後ろ向きで片付け作業を行っていた被災労働者を落下した。振り返ったが、避けきれず、合板に右足が挟まれ怪我をしてしまった。	29	80209	5	100 ～ 299
2017	10	9～ 10	材木搬入現場で、1階から2階の材木（長さ約80の角材）を手渡ししていたところ、2階の大工さんが手を滑らし角材が1階へ落下した際、顔（おでこ）にあたり、打撲した。	38	40301	4	10～ 29
2017	10	15～ 16	製造現場4号館1階包装室にて、パレット積みされた製品（4段積、高さ150cm）をストレッチフィルムで製品全体をラップする作業において、4段目途中でストレッチフィルム（重さ2.2kg）を巻き、段ボール上段に一度置き、床に置いてあったストレッチフィルム置き用の容器を取ろうとしゃがんだところ、段ボール上段に置いてあったストレッチフィルムが落下してきて左側頭部（耳の上辺り）を直撃した。衝撃により左側頭部から流血した。	53	10803	4	50～ 99
2017	10	22～	荷下ろし場で荷物の流し込みの作業をおこなっている最中、荷台に仮置きされたコンパネが荷物と一緒に押し出され被災者の腰部	40	50101	6	100 ～

		23	分にあたり被災したもの。					299
2017	10	21~ 22	引越作業中、部屋にあるダイニングテーブルを搬出する為、解体し天板を持ち上げた際スライド式の天板だった為、伸びた天板を誤って右足の小指に落としてしまい内出血した。しばらく様子を見たが腫れがひどくなった。（天板の大きさ円形直径1m重さ10kg以上）	32	40301	4		10~ 29
2017	10	18~ 19	トラックの上から丸太を二人で降ろそうとした時、一人が足を滑らせてしまい丸太から手を離れた際に丸太が不安定になり荷を固定していたワイヤーと丸太に手を挟んでしまった。	41	60101	7		1~9
2017	10	11~ 12	基礎ピット内にて型枠解体作業中に型枠解体スペース確保の為、枠組足場を押したところ、足場上に仮置きしていた仮設材が落下して、左手親指にあたり、怪我をした。	43	30201	4		1~9
2017	10	12~ 13	営業所車庫にて積込準備中、重ねてあったコンパネを1枚取ろうとした際2枚目のコンパネも同時に動き落下し右足脛付近に当たり受傷した。	52	40301	4		10~ 29
2017	10	10~ 11	6階にて壁パネルを7階へ荷上げ作業を行っていた。7階の作業員が持ち上げた際、端部の栈木にささくれがあり6階作業員の右手親指と人差し指の間に約1cmのささくれが刺さった。	23	30201	8		10~ 29
2017	10	9~ 10	建築現場にて、資材納入時のトラック荷台上にて、長物の角材の荷卸作業を現場作業員と協力して行っていた所、角材の角で左手小指を切った。ゴム手袋はしていた。	54	40301	8		10~ 29
2017	10	11~ 12	5階倉庫内にて、クリスマス陳列月セット（平板1枚、長い板2枚、短い板2枚）をカゴ車から取り出そうとして、一番上に積んであったものを運ぼうとしたところ、2段目の陳列台セットの長い板1枚が滑り落ち、左足甲、薬指上に落下した。傷みがあった。診断の結果左足薬指にひび骨折と判明。	47	80201	4		100 ~ 299
			乗用車の内装下地（フェルト）置き場にて、荷崩れ、変形を防止					

2017	10	7~8	<p>するために結束されたフェルトの最上面に乗せられているベニヤ板を、取り外す作業をしていた。ベニヤ板は長さ100cm×幅80cm×厚さ0.9cm重さ約6~8kgで、作業は両手でベニヤ板を掴み、手前に引きながら降ろしかけたところ手が滑りベニヤ板が落下した。ベニヤ板は約1.5m落下し、左足指つけ根を直撃し親指を骨折した。安全靴は、前日の台風で濡れており、事故当日は通勤用の靴を着用していた。</p>	32	170101	4	50~99
2017	10	11~12	<p>自社食品倉庫駐車場にて、駐車中の2t冷凍車内で荷物の整理整頓中、車内の敷板（厚さ約2cm）につま先が引っ掛かり、左側より腕を着くように転倒し、左肘を強打し、負傷した。</p>	59	170209	2	1~9
2017	10	16~17	<p>解体工事現場にて解体作業中解体材を片付けるため、被災者は重機の左後方より前方へ移動していた。重機の左前方（約3m）にさしかかった際、重機のハサミで掴んだ木材が折れ、木片（4cm×4cm×1m）が被災者の右手及び腹に当たり被災、右手小指付根を骨折した。</p>	34	30209	6	1~9
2017	10	17~18	<p>車庫で整理中にトランクの積み荷に頭をぶつけてケガをした。</p>	32	30309	3	1~9
2017	10	15~16	<p>現場の倉庫でトラックの荷台に有るコンパネ（木のボード）を1枚ずつ降ろす時に数枚が滑り落ちて来て左足の背部を打撲した。</p>	41	40301	5	50~99
2017	10	11~12	<p>年中行事の「利用者のための運動会」に支援員として参加する。職員参加の借り物競走に被災者が加わり、利用者さんと一緒に走った。2人一組で、互いに布に巻かれた角材を両手に持ち、2人が向き合う体勢で、互いの角材でボールを挟み込み、ボールを落とさないように往復15m程の目的地点まで運ぶ競争だった。当日も翌日も特に痛みは感じず、少し肩こりを感じた程度で、大したことないと思ったのに、徐々に痛み出し今までにない痛みが治まらなくなった。病院で診てもらったところ、第五胸椎圧迫骨折と診断された。</p>	76	130201	19	100~299

2017	10	10～ 11	工場にて、2本の南洋材角材を鋼製角パイプで接合させるため、ウインチが備わった引張設備で2本のスリングベルトを対象物の両端に引っ掛けてウインチで引っ張って接合しようとした。その際、角材・万力等を使用した跳ね返り防止措置を講じていたにも拘らず、急に対象物が跳ね返り被災した。	74	80409	6	1～9
2017	10	9～ 10	製材工場の中で木材の整理をしていた時、木材につまずいて転んだ。	59	10401	2	1～9
2017	10	11～ 12	樹木整理業務のため、クレーンに乗り、チェンソーで樹木（直径30cm）を切断していた際、切断した幹が足に落ちて負傷。	36	60101	4	1～9
2017	10	16～ 17	No13コースで、右法面の松の木の伐採作業で、伐採作業員が松を切り倒した後、残った切り株を再度低く切った時、法面の下で片付け作業をしていた被災者に気づかず、残った木（直径40cm、長さ40cm）が法面（傾斜角度25度）を転がり（約15m）被災者の左足甲に接触した。直ちに作業を中断し、病院へ搬送し診療を受けた。診断の結果、左第5中足骨骨折で手術が必要との事。	62	140301	6	10～ 29
2017	10	11～ 12	会社資材置き場にて、資材確認をしているとき、資材から出ていた角材（出200mm）に作業服（ズボン）が引っかかり、体勢を崩したため、隣の資材へ飛び移った。飛び移った際に、左足にて角材を強く踏み込んだため、足裏を裂傷する結果となった。当時は足袋をはいていたが、足袋、くつ下共に破れる程だった。	27	30209	3	1～9
2017	10	9～ 10	弊社プレカット木材加工事業部の工場内において朝礼及び作業打ち合わせ等が終わり各自、作業ラインに着こうと移動している時に加工する材を用意して、積み上げていた木材につまずいてしまい荷崩れをおこし1m位の高さから、木材が足の上に落ちて右足の親指を負傷させてしまった。本人の咄嗟の判断ミスを深く反省している。	34	10402	4	10～ 29
			リングパーカーへの投入の作業に従事している被災者が、投入後、投入口手前に落ちた皮が気になり、レイキを使ってかきあつ				

2017	10	8~9	めていたところ、スラッシャー上の一本がころがり、ストッパーをこえて、片方が落下、ちょうど真下にいた被災者の頭部に当たり、負傷した。	70	10401	4	30~ 49
2017	10	14~ 15	会社構内で積み込みの準備のためウイング右側を開けトラック荷室内でコンパネを荷室前方から左後方へ数日に分けて運んでいた際に荷室左後方の使用したラッシングベルトが外れコンパネが倒れてきた。押され左形で荷室右側から転落負傷した。	62	40301	1	50~ 99
2017	11	14~ 15	本社事務所敷地にて、書庫増築に伴う基礎杭打ち込み作業中（丸太木杭）、ヘルメットの顎紐の装着を怠ったことと、周囲の安全確認不足で、木杭打ち込みの際、雪や地盤の影響で杭が滑り倒れ、被災者の頭部に接触した。	63	30201	5	1~9
2017	11	18~ 19	ホテル内1階で、防音対策として、重厚な木製の板を店内貼り付けする為、同僚と2人で運搬していて、腰椎椎間板ヘルニアで入院が望ましいとの診断となった。	45	150101	19	30~ 49
2017	11	1~2	構内にて、車輛最後部に、集荷用資材（7.5cm四方の角材）を縦5段、横8列に積載し、その前部に積んでいた配達用製品（パレット物）との間に、緩衝用毛布を噛ませようとし、資材後部より前部へ跨いで移動したところ、資材の下に、フォークリフトの爪を入れる為の角材（緩衝材）が、縦に2本敷いてあり、その左側前部の角材に左足を下ろした際、踏み外してしまい、強く左足を捻ってしまった。	48	40303	3	30~ 49
2017	11	15~ 16	個人宅新築工事現場にて、配管工事作業のためのトラックなどが出入りしやすいよう泥でぬかるんだ地面に鉄板（30kg、長さ1m×1m）を敷こうと一人で引きずりながら移動中、石に躓き鉄板を持ったまま尻もちをついてしまい、腰や臀部を強く打ちつけ負傷した。	27	30202	7	1~9
			局内小包エリアにて翌日持ち出し分の荷物を準備する為、荷物を				

2017	11	17～ 18	持ち上げ移動しようとしたところ、右肩を脱臼した。仕事終了後、病院を受診した。全治3週間と診断されたが、デスクワーク等の軽作業であれば就業可能である。	44	150102	5	30～ 49
2017	11	18～ 19	本社駐車場にて現金輸送車を洗車中に足を捻る。	67	30199	3	1～9
2017	11	17～ 18	第5製造所の合成樹脂設備の蒸発器缶出タンクの内容物が異常反応したため、タンク全体が固形物で満たされていた。固形物を取り除くために4名で缶出タンク側面にあるマンホールの開放作業を進めていたところ、マンホールから内容物が急激に噴出し、作業をしていた4名および周辺で作業していた1名が負傷した。	35	40301	4	100 ～ 299
2017	11	14～ 15	当社工場内、断裁機で位置をセットする際、誤ってクランプを下してしまい、指を挟み受傷したものである。	61	30202	8	1～9
2017	11	10～ 11	構内で、荷物の仕分け時、重い荷物を持った際、体をひねり左脇腹を負傷した。	36	80102	19	10～ 29
2017	11	15～ 16	傾斜15度林齢40年生スギ林において作業道開設のため支障木（胸高直径34cm、樹高20m）を伐倒した。作業道開設時に移動する際、元から4mの所で造材作業をしようとしたが伐倒木の元が浮いていたので仕方なく先に伐倒してあった木の上に乗る、顔の高さで造材作業をしているとチェーンソーが挟まれたので、次は挟まれないよう木を近くで作業していたバックホーで下から支えてもらい上から造材していたところ、急に造材木が落下し乗っていた木と木の間で左足を挟まれ被災した。	43	60201	7	1～9
2017	11	9～ 10	テーブル製材機の前で、製材をしていて、4000mm×105mm×105mmの角材が何本か崩れて、足に乗ってしまった。その後は、通常の作業を続けていたが、段々と痛みが増したらしく、翌日、骨折と判明した。	49	10409	5	1～9
2017	11	9～ 10	資材（木枠）を荷おろし作業中、資材が崩れその下になり右手人差し指中指骨折、左頬左肩左膝打撲負傷した。	59	40301	4	10～ 29

2017	11	17～ 18	自社木材製材工場において、木材の整理中、クレーンで吊り上げた木材が転がって落下し、胸部が圧迫され死亡したものと見られる。	76	10401	4	1～9
2017	11	23～ 24	車庫で荷物の点検のため、トラックの横のあおりを開け点検中、荷物の木材がバランスを崩してボディーから地面に落ちる途中、右足太ももに当たり負傷した。	57	40301	4	1～9
2017	11	14～ 15	待機場所で搬入待ちしている時に、トラックの荷台を片付けようと、後方の扉を開けて、扉付近のベニヤ板を前方に倒そうとしたところ、ストッパーのベルトが外れており、ベニヤ板（10枚）が自分の方に倒れて来たので頭を守るためベニヤ板を支えようとして、左手人差し指・中指を負傷した。	64	40301	5	10～ 29
2017	11	13～ 14	社長の指示により、当社の土場（資材置き場）内で、コンクリート基礎工事に使う、「型枠」や「抜き板」を洗浄して、破損材を選別して養生する作業を行っていた時、トラックの荷台に積み置かれた「抜き板」を、結束していたロープを解き、引き抜こうとしたが、抜けなかったため、再度、力一杯、手前にロープを引いたところ、突然、ロープが引き抜け、そのまま勢い余って斜め後方に転倒した。その際、トラックのあおり部分に身体を強打して負傷した。	76	30309	2	1～9
2017	11	9～ 10	集卵作業中、2号舎から5号舎へ歩行にて移動している時、薄いベニヤ板に足を取られ転倒した。その際に左足をひねり、右手を床について負傷した。	69	70101	2	10～ 29
2017	11	14～ 15	工場内にて丸太の製材機で作業中、丸太を機械で挟む際に、誤って指も挟んでしまった。	76	10401	7	1～9
2017	11	14～ 15	引越荷降作業中、トラックに積んだコンテナ内の荷出しを行っている最中、ベッドマットの間に挟んで積み込みされていた機の棚板が落下しそうになった為、落下を防ごうと咄嗟に右足で受け止	32	40301	4	100 ～

			めようとした。その際棚板の角が右足に直撃し、爪及び右足親指に打撲を負った。					299
2017	11	11～ 12	会社の車庫で、トラックの荷台の上で道具の片付け中、りん木の上に誤って足が乗り、右足首を捻挫した。	41	40301	19		10～ 29
2017	11	15～ 16	資材置場作業で、トラックに積んでいた砂を荷台からおろす時に、砂置きから出ない様にトラックの後方側から板を持って待機していた。砂がおりてきた時に板を押さえていたが支えきれず、砂と板が自分の足に倒れて挟まり、負傷した。	37	170209	7		—
2017	11	9～ 10	新築工事現場にて作業中に負傷する。約15kgの木枠パネルを、業務用エレベーターで3階から4階に上げた際に、4階の作業員がパネルを持ち上げようとしたが、何かに手が引っ掛かり、パネルが手を離れそのまま3階に落下した。その際に、3階にいた被災労働者の左母指に当たり負傷する。	70	30201	4		1～9
2017	11	15～ 16	竹林横斜面にて、イベント用竹を伐採し、運搬中落葉に足をとられ、竹と共に右手首から転倒し、骨折する。	30	170209	2		10～ 29
2017	11	10～ 11	地拵え作業中、玉切った材を木の棒を使い、もくっていたところ、その棒が折れて体が前につんのめった状態になり、踏み出した右足が木と木の間で挟まった。その日は、作業を続けたが、痛みが増したので受診したところ、右膝内側副靭帯損傷と診断された。	62	60209	7		10～ 29
2017	11	16～ 17	木製パレット補修作業に第2工場に従事している時に、1400×150×22の木板（2kg）1枚を足の甲に落とした。安全靴は履いていたが保護プレートの無い部分に高さ1mから自身の手で持っていた板を滑らせて打撲した。原因：仕事終了直前で相手作業者との呼吸が合わず、タイミングが狂って手が滑った。	52	10401	4		10～ 29
2017	11	15～ 16	工場1階北側三次元測定室前にて、作業台作成中、木製のボードを2人で持ち上げる途中、足元にあった木パレットに引っ掛かり、バランスを崩し、床に右膝から強打し皿が割れ負傷した。	44	11502	2		50～ 99

2017	11	9~ 10	個人宅新築工事現場において、梁材と壁合板の下にあるロープを取ろうと引っ張ったところ、梁の角に右手中指が当たり裂傷となる。	35	30202	8	10~ 29
2017	11	16~ 17	木造住宅の外壁材の撤去作業中、撤去した木材の積み込みをしている時、下に置いた木材の上を歩き、右足で釘を踏んだ。翌日は通常の作業をしたが、翌々日朝に足が腫れ、痛みが出てきた。	56	30202	9	1~9
2017	11	7~8	荷卸工場にて、荷卸の準備の為、車輛荷台後部扉を開けた際、後部に積んでいた緩衝材（コンパネ20枚）が落下してきて、転倒し、腰を強打した。〔再発防止対策〕アオリ、扉を開ける時は荷台上の状況を目視してから、ゆっくりと開ける。	28	40301	5	10~ 29
2017	11	11~ 12	お得意先の工場で、木材の配達をしている時、木材（長さ4m、10kg以上）を1人でトラックから置場まで運び、積み上げている時に、高さ1.8m位に積み上げ中に左手首をひねり痛めた。	41	10401	19	1~9
2017	11	12~ 13	現場で測量作業中に、丸太倒木を踏み越えようとして丸太に足をかけたところ、足を滑らせてバランスを崩し転倒し、左脇腹を丸太で強打した。	51	30199	2	1~9
2017	11	10~ 11	自社の植木畑で草刈りと枝切り作業後の片付け中、集めた草や木の枝に乗って、足が滑り転倒した。	45	30209	2	1~9
2017	12	11~12	被災者が、壁に設置されている棚上のコーヒークップを取ろうと棚の扉を開けた際に棚が落下し、棚が額の右上に接触し、幅約5cm、深さ3mmを切った。現場にいた係員と主任が被災者を椅子へ座らせて応急処置をし、その後、救急車で病院へ搬送した。棚の大きさは幅120cm、奥行35cm、高さ60cm、重さは15kg程であり、ビスの設置がゆるんで落下したと推測される。	60	140201	4	30~ 49
2017	12	18~19	マイナス6m岸壁に接岸した船内で、4m杉丸太の積付作業中に、丸太に雪が少し残っていて、その上で足をすべらせ3列目と4列目に段差が約1mあり、4列目に転落し、その際に丸太に右肩と右脇	69	50201	1	10~ 29

			腹を強打した。				
2017	12	16~17	朝礼時から強風が吹いていたが、午後から風が弱まったため、風の様子を見ながら資材置場で資材整理作業をしていた。突風により、朝礼看板脇に設置済みのコンパネが飛散し、約30m先で作業をしていた被災者にあたった。	46	30199	4	10~ 29
2017	12	15~16	丸太約350mmΦを、厚み120mm、幅300mmに切断後、20mmの板に切断するため、製作機にセットする際、上記寸法の木材盤の間に左手中指を挟み、裂傷及び骨折をした。	64	10401	7	1~9
2017	12	10~11	製品倉庫にて製品出荷の為、鉄筋のバラ数取り作業を行っていた。数取り作業終了後、次の作業に移る為、5番出荷口に移動中、進行方向に製品の別山があった為、製品の上を移動し降りた（鉄筋束2段積、高さ約40cm）。その際、足元の枕木に左足から着地したが踏み外し、バランスを崩して転倒し、足首を捻じってしまった。そのまま作業は継続したが、夜に入浴する際、腫れがひどくなっているのに気付き、翌日整形外科を受診し、靭帯損傷と診断された。	22	11001	2	100 ~ 299
2017	12	14~15	選別カート内で廃棄物の選別をしている時に、長さ1.8m・巾0.9m・厚み30mmのベニヤ板を数枚、社長と被災者の2人で移動してBOXの上に載せた。その後、最後に残った1枚のベニヤ板を被災者1人で両手で頭上に持ち上げて、BOXの高さ1.5m位の所に載せた。その後、あばら骨付近に痛みが出る様になった。	63	150102	19	30~ 49
2017	12	16~17	倉庫内で、材木（長さ3600mm、幅150mm）を定位置に保管するため、立てかけていたところ、振り向きざまに1枚（約7~8kg）の材木が倒れてきて、背中から頭部を直撃し、その勢いで体が前のめりになり、顔面を地面（コンクリート）に強打した。	68	10503	2	10~ 29
2017	12	14~15	事業所内に於いて、現場で使った枕木を車両の荷台から取り下ろす際、手が滑り、枕木が落下した。その時、右手の親指が枕木とトラックの荷台の間に挟まれ負傷した。	31	30104	7	10~ 29

2017	12	13~14	1階で壁面の部材を移動しようとした際に、上部に仮置きしていた2階部分で使用する梁が下にすべり落ち、作業員の左手に当たり受傷した。	27	30209	4	10~ 29
2017	12	7~8	当社本社敷地内、資材置場にて、年末の片付け作業を開始する為、作業段取り中、パネル（0.6×1.2、H1.2m）3山平積みの上に載っている不用金物袋（≒15kg程度）10袋を金物の箱に入れる為、パネルの上に乗って金物袋を手で箱に入れている時にバランスを崩した為、身の危険を感じ飛び降り、地面に着地した際、右足甲中指と薬指の根元を負傷した。	49	30209	3	30~ 49
2017	12	9~10	土場で角材（約3m×15cm×15cm）を2人で運んでいた。片側を持っている人が角材を置こうとしたところ、被災者は支えきれなくなり、そのまま右足の甲に落とした。	37	10401	4	10~ 29
2017	12	15~16	工場内にてトラック（4t）へ荷を積み込んでいる最中に、荷台の中を確認しようとしたところ高さが足りず、近くに置いてあった大きさ6cm四方の盤木（フォークリフトの爪が入るよう荷物の下に置く木）に足をかけたとき、バランスを崩して右足首を捻挫した。	42	11209	19	10~ 29
2017	12	10~11	住宅資材部工場内の第2プレカット工場で棚下ろしの作業中に、積み上げられた材料を確認しようとして上に上がったとき、足場が悪かったため足を滑らせて落下し、右足の踵を骨折した。	54	80109	1	100 ~ 299
2017	12	8~9	構内で、積荷の合板を降ろしていたところ、右足の親指の上に落下し骨折した。	67	40301	4	30~ 49
2017	12	7~8	積み込み現場で、4.8mの木材（重さ100kg程度）をリフトを使い積み込み中、荷物が濡れていたため、フォークリフトの爪から荷物が落下し、右足に当たり負傷した。	42	170209	4	1~9
			路上にてトラックから荷降ろし作業中に、トラック後部の観音扉を開けたところ、コンパネが足元に落下し、足の指を骨折した。				

2017	12	10~11	原因は、走行中に内部に固定して立て掛けてあったコンパネが傾き、固定しているラッシングバーをすり抜けたこと、注意深く観音扉を開けなかったこと、および安全靴に履き替えていなかったことにある。	49	40301	4	10~ 29
2017	12	12~13	新築工事の玄関の床板に使用する木材を、自社作業場において加工し移動する際に、下に敷いてあった厘木（20cm角×3m）が、高さ80cmの位置から右足の上に落ちてきて負傷した。	35	30202	4	1~9
2017	12	10~11	1号倉庫内で荷下ろし作業中、2人1組での作業で、相手方作業員が枕木を押したため、枕木と鉄板との間に右手親指が挟まり、右手親指の腱断裂および骨折をした。	55	40301	7	30~ 49
2017	12	10~11	グラップル付きトラックでの丸太（桧、4m、径10cm）の積み込み作業を終えたあと、荷台の上の丸太を整えていたところ、桧が跳ね上がり、足をとられて荷台（地上高3m）から滑落し、負傷した。	63	60201	1	1~9
2017	12	16~17	舗装工事中、養生用のプラスチックベニヤ板が風で道路に飛んだため、慌てて拾いに行き拾い上げたが、右足でその板を踏んだまま拾い上げてしまい、滑って転倒し、アスファルト路面に左膝を打ちつけた。	46	30201	2	10~ 29
2017	12	15~16	積み上げたブロックの上で、新たにクレーンで吊り上げたブロックを積み上げるため、二人組でブロックの向きを整えていたとき、バランスを崩して転落した。	69	30199	1	1~9
2017	12	14~15	作業場において、新築工事のための加工した木材（10.5cm×10.5cm×4cm）を移動し積み上げる作業中、手元のバランスを崩し、木材に挟まり右手薬指を負傷した。	54	30201	7	10~ 29
2017	12	10~11	重機に乗り、木を集材していたところ、ワイヤーを掛けていた伐倒木の上にあった伐倒木が滑落し、重機のフロントガラスを破り突入してきた。その際、木が左上腕から左肩付近に当たり負傷した。	63	60201	6	1~9

2017	12	10~11	会社の工場にて、残材の仕分けおよび廃棄作業中に、立て掛けている大量の残材を動かしているとき、自身の不注意により、右手の甲を残材（木材ボード、400×450×3cm）で挟んでしまい、右手を負傷した。	31	30202	7	1~9
2017	12	9~10	工場パネルを担いで運ぶ際に、パネルを下ろそうとしたとき、パネルとパネルの間に指を挟んだ。	45	30209	7	1~9
2017	12	11~12	畑と山で伐採作業中、切った杉の木（丸物3m程度のもの）が、安全に作業していた中であつたが、足の上に転がり落ち、左足の足底を骨折した。	70	60101	4	1~9
2017	12	10~11	山林搬出現場にて、伐採の様子を見に行ったとき、林内作業車に原木を積む作業中（他者）、林内作業車の縁に手をかけていたところ、原木が回転して右手の指を挟んだ。	64	80109	7	10~29
2017	12	14~15	本社工場内にて横切り作業中、製品の寸法カット後、余った製品を2m先の仮位置に移動中に、他の置いてあつた材料に誤って足を引っかけて転倒し、右足脛と踵を負傷し、そのまま入院となつた。	44	10409	2	10~29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html